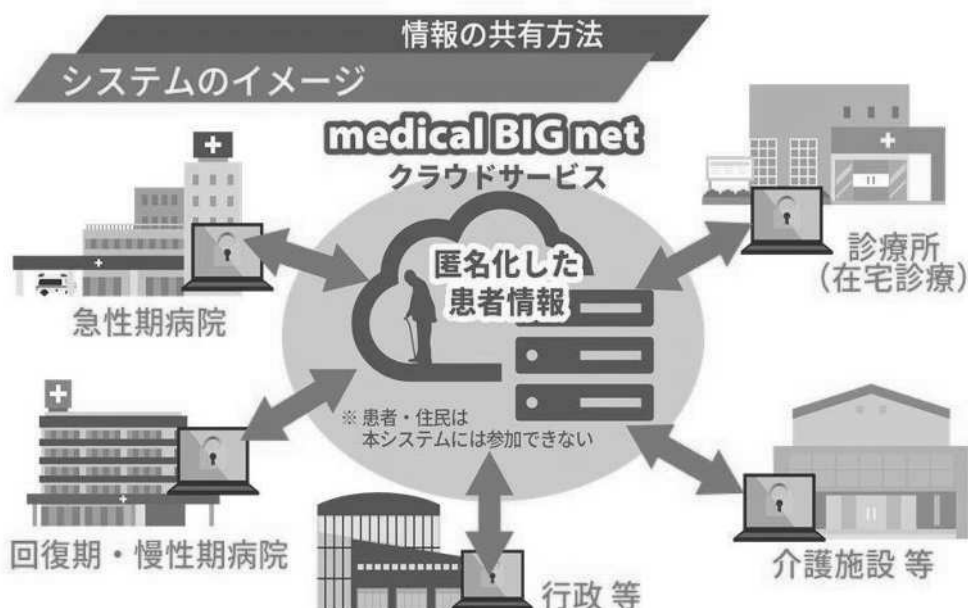
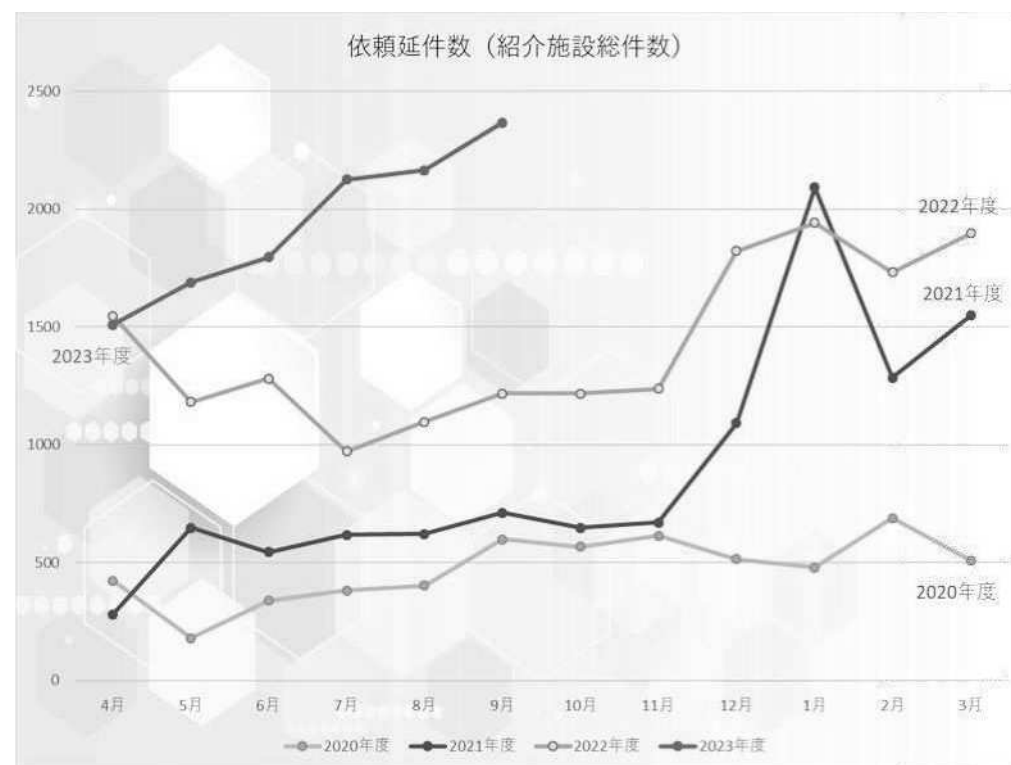


medical B.I.G. net の最近の動向



medical B.I.G. net とは？

- 地域包括ケアシステム構築を目指して作られた、医療・介護関係者専用のネットワークシステム
- 病院協会(B)、医師会(I)、行政(G)が協力



2023年度の利用統計から(2023.4～6)

- **発信件数: 4995件** (1人を10施設に打診したら10件)
ほとんどが急性期病院から発信
慢性期病院の発信は30件
(受け入れ側のレスポンスが早くなった)
- **受信施設**
多くが慢性期病院・回復期病院
診療所 1件
老健 622件(12.5%)
有料老人ホーム 4件
- **依頼成立: 249件**
簡単に転出先が見つかる場合は、これまで通りに折衝(電話)を行っている
BIG netで発信し、電話で成立することもある

現在の主な活動状況 I

- **メッセージ機能の追加: 2023.9から使用可能**
平塚市医師会から提案された使い方を可能にする機能
各会員施設から発信⇒限定した会員施設
⇒多数の会員施設
各種相談、各種アンケート、研修会案内、空床案内、自施設の広報等
- **厚木市からの実証実験提案の実施準備**
BIG netが医療介護全施設で使用可能かの実証
厚木市は災害時の医療介護施設への情報共有に利用したい模様
2023年10月から1年間無料で施行する計画
厚木市、愛川町、清川村全域で施行する予定
8月に4回の説明会が終了

medical B.I.G. net の会員状況

- **2021年2月末(初年度末)**
20病院、8診療所、11介護施設(11入所)
- **2022年2月末(二年度末)**
28病院、13診療所、33介護施設(25入所、8非入所)
- **2023年3月末(三年度末)**
32病院、15診療所、53介護施設(37入所、16非入所)
- **2023年9月19日**
39病院、14診療所、54介護施設(37入所、17非入所)、1歯科医師会

現在の主な活動状況 II

- **平塚市から認知症初期集中支援チームで使用したいと申し出**
現在、調整中
高齢福祉課と支援チームを委託されている副会長は積極的
支援チームに地域包括支援センターが絡み、ケアマネへの拡大に期待
- **ケアマネの参加をどのように進めるか**
担当入院患者が退院する際、ケアマネは退院情報収集書を作成する
退院前に入院病院から、ADL表をBIG netで配信してはどうか
⇒病院、ケアマネ双方にメリットありと考えられる
市民病院、共済病院の担当者は了解。他の急性期病院は？
平塚市社協の担当者は医療・介護連携にBIG netの必要性は理解
ケアマネはBIG netに拒否感があるらしい・説明会2回開催
市民・共済の退院支援とケアマネ・社協で打合せ予定

現在の主な活動状況 Ⅲ

- ◎診療報酬請求が可能な退院カンファへの利用が進むか
病院関係者、在宅医、ケアマネ、訪問看護師等の関係者の日程調整
資料のカンファ前の配布
などでカンファ関連時間の短縮が図れる

ホームページについて



medical B.I.G. net®のホームページ

<http://mbn.html.xdomain.jp/>

- Yahoo、Googleからも検索可



バナー



Contents

- medical B.I.G. net®の目的・概略
- 登録施設
- 毎月の利用統計
- 事務局への問い合わせフォーム
- 広報用YouTube（医療機関用＆介護事業所用ビデオ）